

いなみ野ため池ミュージアム

～先人の“遺産”を次代の“資産”に～



いなみ野ため池ミュージアム 運営協議会
兵庫県東播磨県民局

●いなみ野ため池ミュージアムの運営●

■いなみ野ため池ミュージアム運営協議会の構成団体

2023.5 現在

1	A-1	釜谷池協議会（明石市大久保町）	53	T-7	阿弥陀西部ため池協議会（高砂市阿弥陀町）
2	A-2	西島ため池協議会（明石市大久保町）	54	T-8	南池ため池協議会（高砂市阿弥陀町）
3	A-3	黒星池協議会（明石市鳥羽）	55	T-9	北池ため池協議会（高砂市阿弥陀町）
4	A-4	江井ヶ島ため池協議会（明石市大久保町）	56	I-1	内ヶ池ため池協議会（稲美町岡）
5	A-5	清水ため池協議会（明石市魚住町）	57	I-2	和田新池公園協議会（稲美町和田）
6	A-6	長坂寺ため池協議会（明石市魚住町）	58	I-3	梶ヶ池ため池協議会（稲美町森安）
7	A-7	柳井ため池協議会（明石市魚住町）	59	I-4	おにいたため池協議会（稲美町野寺）
8	A-8	清水新田ため池協議会（明石市魚住町）	60	I-5	竜ヶ池につどう会（稲美町中村）
9	A-9	松陰新田ため池協議会（明石市大久保町）	61	I-6	琴池を愛する会（稲美町国安）
10	A-10	金ヶ崎ため池協議会（明石市魚住町）	62	I-7	加古の池を愛する会（稲美町加古）
11	A-11	松陰ため池協議会（明石市大久保町）	63	I-8	播州葡萄の里ため池協議会（稲美町印南）
12	A-12	福里ため池協議会（明石市二見町）	64	I-9	印西地区ため池協議会（稲美町印南）
13	A-13	東二見ため池協議会（明石市二見町）	65	I-10	千波池ため池協議会（稲美町国岡）
14	A-14	鴨谷池ため池協議会（明石市魚住町）	66	I-11	蛸草地区ため池協議会（稲美町蛸草）
15	A-15	中尾ため池協議会（明石市魚住町）	67	I-12	掌中橋保全協議会（稲美町印南）
16	A-16	林谷池ため池協議会（明石市和坂）	68	I-13	天満大池ため池協議会（稲美町六分一）
17	A-17	第17号池コーポレーション（明石市魚住町）	69	I-14	入ヶ池郷ため池を愛する協議会（稲美町加古・北山）
18	A-18	藤江雲染池ため池協議会（明石市藤江）	70	I-15	野々池ため池協議会（稲美町野谷・草谷）
19	A-19	八木ため池協議会（明石市大久保町）	71	I-16	相野環境保全協議会（稲美町草谷）
20	K-1	峠池を考える会（加古川市野口町）	72	I-17	下草谷稻荷池ため池協議会（稲美町下草谷）
21	K-2	寺田池協議会（加古川市平岡町）	73	I-18	草谷川ため池協議会（稲美町下草谷）
22	K-3	野田池なかよしの会（加古川市志方町）	74	H-1	かがやきの北池コミュニティ（播磨町二子）
23	K-4	別府皿池の未来を考える会（加古川市別府町）	75	H-2	妹池コミュニティ（播磨町古田）
24	K-5	野村池友の会（加古川市八幡町）	76	H-3	新井大池ため池協議会（播磨町古宮）
25	K-6	西牧ため池協議会（加古川市志方町）	77	1	神戸新聞社
26	K-7	ながいけの会（加古川市上荘町）	78	2	ラジオ関西
27	K-8	レインボープラン水足ため池に親しむ会（加古川市野口町）	79	3	兵庫南農業協同組合
28	K-9	山中ため池協議会（加古川市志方町）	80	4	あかし農業協同組合
29	K-10	成井ため池協議会（加古川市志方町）	81	5	加古川市南農業協同組合
30	K-11	白助池協議会（加古川市野口町）	82	6	兵庫県土地改良事業団体連合会
31	K-12	横大路ため池協議会（加古川市志方町）	83	7	兵庫大学・ため池研究所
32	K-13	高畑地域づくり協議会（加古川市志方町）	84	8	播磨ウエットランドリサーチ
33	K-14	神野ため池協議会（加古川市神野町）	85	9	NPO地域再生研究センター
34	K-15	中西条農・水・環境協議会（加古川市八幡町）	86	10	いなみ野パールプロジェクト推進実行委員会
35	K-16	富木地区環境保全協議会（加古川市西神吉町）	87	11	東播用水土地改良区
36	K-17	カモメ池協議会（加古川市西神吉町）	88	12	明石溜池研究会
37	K-18	宮前・神吉ため池協議会（加古川市西神吉町・東神吉町）	89	13	神戸市立須磨海浜水族園
38	K-19	新井用水に親しむ会（水路：加古川市～播磨町）	90	14	和亀保護の会
39	K-20	土山ため池協議会（加古川市平岡町）	91	15	エコウィングあかし 自然グループ
40	K-21	大池五ヶ村ため池協議会（加古川市志方町）	92	16	一般社団法人のはらくらぶ
41	K-22	西山ため池協議会（加古川市志方町）	93	17	特定非営利活動法人 環境ユースイングてんま
42	K-23	薬栗ため池協議会（加古川市上荘町）	94	18	株式会社 NEXT MOTION
43	K-24	広尾西ため池協議会（加古川市志方町）	95	19	NPO法人 いなみ野アスレチック
44	K-25	原地域づくり協議会（加古川市志方町）	96	20	（仮称）稲美舞台芸術文化育成事業実行委員会
45	K-26	山之上ため池協議会（加古川市平岡町）	97	21	ランインフォ
46	K-27	西条ため池協議会（加古川市神野町）	98	22	兵庫県（東播磨県民局・加古川流域土地改良事務所）
47	T-1	堂池地区ため池協議会（高砂市北浜町）	99	23	明石市
48	T-2	阿弥陀新池ため池協議会（高砂市阿弥陀町）	100	24	加古川市
49	T-3	魚橋里山・ため池協議会（高砂市阿弥陀町）	101	25	高砂市
50	T-4	長尾ため池協議会（高砂市阿弥陀町）	102	26	稲美町
51	T-5	北脇地区ため池協議会（高砂市北浜町）	103	27	播磨町
52	T-6	生石ため池協議会（高砂市阿弥陀町）			

●水をまもる者たちに●

何億年もの時間の中で、無からすべてを生んだのは水だ。

母の胎内を泳ぐように、魚類が水の世界を謳歌したのち、進化をとげた生き物たちが初めて陸地に上がってからも、水がすべてを生かしてきた。

人類を地上の覇者とした以後も、水は、あるときは優しい聖母の顔で恵みをもたらし、あるときはまた厳しい父親の顔で人を絶望に突き落としてきた。

それでも人は、叡智を集めて水を制し、今日にいたる文明を築いたのだ。

我々のふるさとに散らばるため池は、いのちの水を守ろうという、もっとも原初的な、人類の願いの結晶であろう。ほうっておけば川へと流れ海から気化して天上へ還ってしまうめぐみの水を、せめて地上に留めおこうとした、それはせつないまでの祈りの跡なのだ。

ところが2011年3月、我々は、海底ふかく起きた地球の雄叫びによって、制したはずの地上の文明のことごとくを失った。東日本大震災は、テクノロジーという名の傲慢を、一瞬にして無に帰したのだ。

失われたものはもどらない。しかし、大事なことは思い出した。我々はいまだ自然という太古からある一個の地球の上で生かされていること。そして生きるためには、また水とともにあらねばならないことを。

幸い、播磨にはまだ、水瓶が残った。雨の少ないこの風土で、先人たちが懸命に守った、ため池という命の水の容れ物だ。

千年の時を生き抜いたため池を、歴史に葬る権利は我々にはない。生殺与奪を決めるのは、いつの時代も水でしかない。

ならばまもりぬこう。生まれた時からそこにあった、景色の一部の尊い水辺。一人一人が今ここに生かされているのも、この地に水があったからと振り返れば、けがしてはならないものの意味がわかるだろう。

ため池をまもる我々の活動もやっと二十年を迎えました。

そこに棲む魚や虫や貝や蛙、同じ水から生まれたものたちとともに重ねた時間だ。

同じ時間に、この地では、離農が加速し、宅地化はさらに勢いを増している。価値を忘れられたため池は、窮屈そうな空を映すのみ。年を追うごと、状況がさらに深刻になるのは避けられそうもない。

あらたな一年、十年、そして我々が去った後の千年の世に、同じ水辺の輝きがこの地にあるか。

——それは、今このときを生きる我々の手にかかっている。そんな気がする。



いなみ野ため池ミュージアム運営協議会会長 玉岡かおる

いなみ野ため池ミュージアムの活動を紹介しています



ホームページ

<https://www.inamino-tameike-museum.com/>



フェイスブックページ

<https://www.facebook.com/いなみ野ため池ミュージアム運営協議会-124893701708634/>



インスタグラムページ

<https://www.instagram.com/inaminotameike/>

【問い合わせ先】

いなみ野ため池ミュージアム運営協議会

○兵庫県東播磨県民局水辺地域づくり担当
〒675-8566

加古川市加古川町寺家町天神木 97-1

TEL : 079-421-9026 FAX : 079-424-9977

○兵庫県加古川流域土地改良事務所
〒673-0423

三木市宿原字寺ノ前 70

TEL : 0794-82-9824 FAX : 0794-83-6835

●東播磨のため池●

○兵庫県は日本一の「ため池県」

兵庫県には、全国で約 22,000 箇所の農業用ため池があります。その数は全国の 14%にあたり、日本一の「ため池県」といえます。

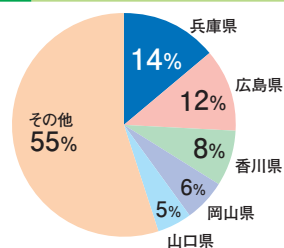
○東播磨は「ため池王国」

東播磨地域（明石市・加古川市・高砂市・稲美町・播磨町）は日本有数のため池密度を誇り、甲子園球場の約 12 倍という県内最大の加古大池（稲美町）や、白鳳 3 年（675 年）に築かれたという記録が残る県内最古の天満大池（稲美町）をはじめます。オニバスやガガブタといった絶滅が危惧される水草が自生したり、ウォータースポーツを楽しめたりするなど、個性豊かなため池が数多くあります。

○ため池と水路が織りなす水利ネットワーク

水に恵まれない自然的条件のもと、先人達は知恵と労力を出し合い、新田開発と疏水事業により、地域の発展の礎を築きました。今もこの地を潤す水利ネットワークやため池群が織りなす風景は、文化庁の「文化的景観 180 カ所」や地球環境関西フォーラムの「関西の風景 100 選」、農林水産省の「ため池百選」や「疏水百選」にも選定されるなど、文化財として高く評価されています。

図1 都道府県別ため池数



兵庫県:R3.3兵庫県農地整備課調べ
その他:R3.12末農林水産省農村振興局調べ

図2 東播磨地域のため池数



●主な活動内容● ～守り、活かし、次世代に継承する取組～

春



桜ウォーキング



樋抜き作業



田植え体験会

夏



SUP 体験会



カヌー体験会

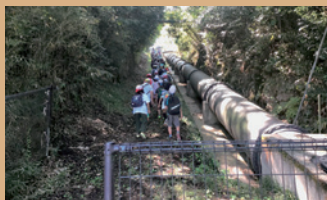


オニバス観察会

秋



クリーンキャンペーン



疎水見学会



かいぼり（じゃことり）

冬



レンコン掘り大会



野鳥観察会



感想文コンクール表彰式

●いなみ野ため池ミュージアムの展開●

○背景

東播磨地域（明石市、加古川市、高砂市、稲美町、播磨町）には、県内で最大の水面積を誇るため池、最古の記録が残るものやスポーツが楽しめるもの、絶滅危惧種を育むものなど、個性豊かなため池が多数あります。

これは、水稲作を営む上で、降雨量が少なく保水性も低く、さらには河川からの水の恵みも得にくいという、悪条件を克服することによって形作られたものです。

その多くは、水路で結ばれ連なり、このため池群は日本有数の密度を誇り、自然景観や伝統行事など固有のため池文化を豊かに育んできました。

しかし近年、農業者の高齢化や減少、農地の縮小により、これら農業水利施設の管理が困難になっている地域が増えています。

また都市化の進展により、住民相互の関係が以前に比べ希薄になり、自治会活動なども低調となっています。地域農業に対しても無関心となり、ゴミの投棄や水質悪化、水難事故の発生など、ため池は「汚い・臭い・危険」といったイメージを持たれてきました。



ゴミの不法投棄の増加

○いなみのため池ミュージアムの展開

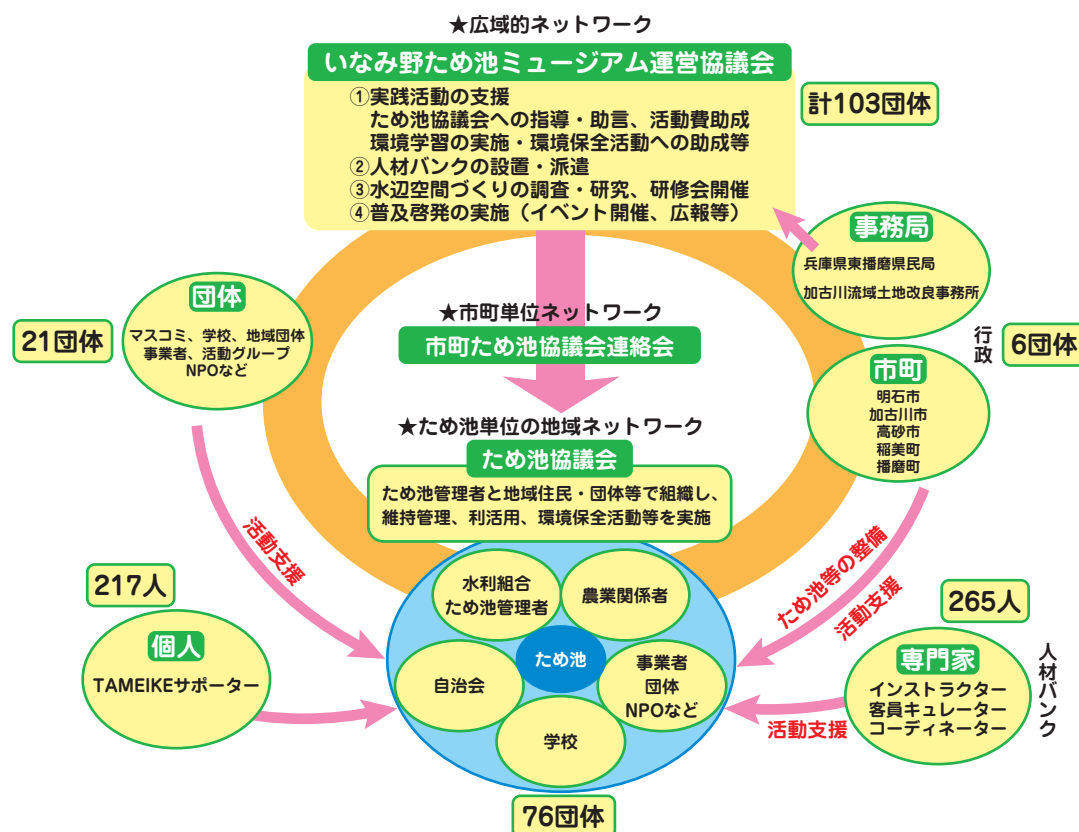
ため池や水路を地域の財産と位置づけ、各ため池や集落では施設管理者である農業者だけでなく、地域住民や多様な主体が参画する「ため池協議会」を組織し、それらを核とする地域づくりを進めてきました。

平成 14 年度には、ため池や水路を地域の財産として守り、その多様な価値や可能性に着目して活かし、より素晴らしい姿で次代に引き継いでいくために、個々のため池を展示物とし地域全体を屋根のない博物館に見立てる「いなみのため池ミュージアム」を設立しました。

この取り組みは、現在 80 近くのため池協議会を含む約 100 団体からなる「いなみ野ため池ミュージアム運営協議会」が、活動母体として事業を展開しています。

●運営体制●

多様な主体をネットワーク化する中間支援組織として、「いなみ野ため池ミュージアム運営協議会」を平成 19 年 3 月に設置し、ため池協議会の活動支援や人材バンク、調査研究、普及啓発などを運営しています。



●これまでの成果とこれから●

これまでの成果

これまでのため池を核とする地域づくりの取り組みを通じて、その多面的機能の発揮・促進や適正な維持管理など、一定の成果が見られます。

○運営体制の充実

いなみ野ため池ミュージアム運営協議会の活動基盤となる、「ため池協議会」や人材バンクの登録者は、近年においても増加している。

○地域住民のため池保全活動の定着

地域住民の多くが、ため池の清掃活動やイベントに参加し、ため池管理者と接する機会が増えるなど、地域交流活動が定着してきました。

また日頃から散歩などに利用し、ため池を地域の財産とする意識や、そこで出会う住民同士の交流が図られています。

○教育機関や実践活動団体とのネットワーク化の促進

ため池の環境学習や疏水学習が学校教育の現場に取り入れられ環境保全実践グループがサポートしたり、高校生や大学生が環境調査の一環で地域の自然保護団体と連携し希少種保護や外来種駆除などに取り組んだり、ネットワークが構築され活動の輪が広がっています。



これから

今後、農家の高齢化や減少に伴うため池管理の粗放化が進行したり、農地の減少によるため池の廃止が増加したりするなど、ため池は深刻な問題に迫られる可能性があります。

いなみ野ため池ミュージアムでは、ため池が持つ価値や可能性に着目し、地域でため池を永続的に保全し、その多面的な機能を享受する新たな仕組みづくりが急務と考えています。

これまでの経験知と関係者の話し合いを重ね、先人が築き、守り、伝えてきた「ため池」を次世代に引き継いでいくため、「いなみ野ため池ミュージアム」はこれからも挑戦していきます。

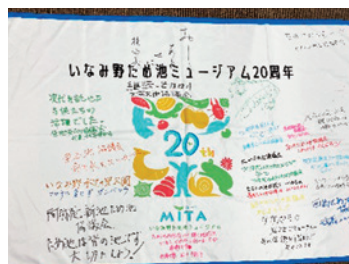


トピックス Topics

20周年記念イベント開催!

新型コロナの影響でスタートが出遅れましたが、2021.11.17～2022.11.12 に、ため池の新たな価値や可能性を参加者全員で体験・共有し再認識することが出来ました。また、次の10年・20年もため池のある水辺空間を保全し、持続可能な体制づくりのための手がかりが得られました。

オニバス観察会・ため池カヌー大会・ため池ウォーキング・アサザまつり・かいぼり など17箇所。



ひょうごフィールドパビリオン認定!

『いなみ野ため池 SDGs プロジェクト』
～先人の遺産を次代の資産に～

東播磨のための池文化を世界に発信!



ひょうごフィールドパビリオン
Our Field, Our SDGs
私たちのフィールド、私たちのSDGs

ため池コウノトリプロジェクト



ため池コウノトリプロジェクトセミナー開催!

けがをしたコウノトリや動かないコウノトリを見つけた時、
コウノトリがけがをしたり弱ったりしていても、
手を差し伸べないで見守りましょう。

死亡したコウノトリを見つけた時は、
市役所や町役場の文化財担当窓口に知らせてください

日本コウノトリの会 コウノトリ市民科学調査員 募集中!

調査員が増えることで、コウノトリの行動をより詳細に把握し、その生態をより深く理解し、分析して知ることが可能になります。

みなさん、野生コウノトリの調査員にご応募ください。



詳しくは日本コウノトリの会





これまでの歩み History of "The Museum of Inamino Tameike"



2023.2 ひょうごフィールドパビリオン認定

2021.11～2022.11

いなみ野ため池ミュージアム20周年記念事業開催

Future

2030

2021



2020.2～11 オ池リンピック2020開催*



2018.1～12 県政150周年記念事業「ため池博覧会2018」開催*

2016 ため池コウノトリプロジェクト始動

2013 第15回日本水大賞「農林水産大臣賞」受賞

2011 循環する水の路プロジェクトの展開

2010 里と海の協働による
豊かな海の再生プロジェクト始動

2009 オンリーワンプロジェクト始動

2006 いなみ野パール
プロジェクト始動

2006

2012

2010 全国疏水フォーラム開催

2009 淡河川山田川疏水記録誌発行、郷土学習副読本「水をもとめて」発行

2007 インストラクター養成講座開設

2007.3 いなみ野ため池ミュージアム運営協議会設立

2006 全国ため池フォーラム開催

2005 明石市、加古川市、高砂市、播磨町 ため池協議会連絡会設立

2004 稲美町ため池協議会連絡会設立

2003 いなみ野ため池ミュージアム人材バンク設置

2002 いなみ野ため池ミュージアム推進実行委員会設立



2018 「東播磨ため池歳時記」発行*

2018 全国ため池フォーラム開催

2015 次代につなぐ「ため池」フォーラムin東播磨*



2012.3 いなみ野ため池ミュージアム10周年記念事業開催*



10年の歩み

CHECK!

*QRコードで詳しい情報をご覧ください。